

日米貿易協定の最終合意について

2019年10月1日

一般社団法人日本工作機械工業会

会長 飯村 幸生

日米貿易協定が最終合意に至ったところ、両国政府の交渉担当者のご尽力に敬意を表します。

当工業会会員各社は、日米の顧客先に対して、最先端の工作機械を供給しつつ充実したサービスを提供してまいりました。今後も、顧客先からの信頼が継続して得られるよう最大限の努力を傾注します。

そのような情勢の中で、今回の最終合意を概括すると、多くの工作機械については、米国の関税が撤廃・削減されることとなっており、これを歓迎致します。ついては、この合意が可能な限り速やかに発効されるよう要望すると共に、日本政府におかれては、先のG7でも各国間で共有されたWTOの改革を含め、自由貿易体制が世界中に浸透するようリーダーシップを発揮されることを期待致します。

当工業会は、日米の製造業が持続的に躍進し、そして日米経済が更なる発展を遂げる為の努力を継続してまいります。

以上